



長門の話題

Topics

第12回全国やきとリンピックin長門 二日間で6万5千人が来場

9月1日(土)、2日(日)の二日間、山口県漁協湊支店魚市場を会場に「第12回全国やきとリンピックin長門」が開催され、県内外から6万5千人が訪れました。
北は北海道から南は沖縄県まで、全国のご当地やきとりの名店19店舗が出店。来場者は行列をなして買い求め、そ



▲全国のやきとりを買い求めようと長い行列ができた



▲19店舗のやきとりの見本を前に、どれにしようか悩む来場者

れぞれのやきとりを味わっていました。
また、会場ではアワビやサザエ、牡蠣などの海産物、白オクラや長門ゆずきちといった農産物などの特産品も販売されたほか、ステージではライブやダンスなども披露され、来場者は夏休み最後の休日を楽しんでいました。

道の駅センザキッチンがオープンして134日目 来場者が50万人を突破

8月31日(金)、道の駅センザキッチンが4月20日のグランドオープン以来、134日目で来場者50万人を突破しました。
50万人目の来場者となった福岡県の中村美結さん一家には花束と特産品セットが送られ、大西市長、山本駅長とともにくす玉を割って50万人達成を祝いました。



▲くす玉を割って50万人達成を祝う

地元企業による老人ホーム訪問 長寿を祝ってプレゼント

9月13日(木)、敬老の日に先立って、特別養護老人ホームなどの入居者に対し、地元企業の深川養鶏農業協同組合から鶏卵を使用したラゲビーゼンべいや新商品の焼ドーナツが送られました。入居者たちは、プレゼントを受け取ると「ありがとう」と感謝の言葉を述べていました。



▲末永明典組合長が一人ひとりに手渡す

長門のPeople

サーフィンでプロ公認の資格を取得

おかだ こむぎさん (菱海中学校3年 / 油谷新別名)



8月30日から9月2日にかけて開催された「第23回I.S.U茨城サーフィンクラシックさわかみ杯」において、プロトライアル選を勝ち上がり、プロ本戦に出場、本戦で規定のラウンドを勝ち上がり、見事、プロ公認の資格を取得したのが、14歳の岡田小夢希さんです。

「プロ公認資格を取ることが一つの目標だった」と語る岡田さん。プロ宣言を行うかは未定ですが、「もっと強い選手と戦い経験を積んでサーフィンで活躍したい」と抱負を語りました。



▲「ターンがすごうまい」と大会審査員からも高い評価

旬な人

体の動かし方などを学ぶ オリンピック経験者や箱根駅伝経験者が競技指導

9月2日(日)、「陸上教室in仙崎」が仙崎小学校で開催され、小学生ら約70人が参加しました。長門市仙崎出身でオリンピックに出場経験のある油谷繁さんや箱根駅伝経験者の白濱三徳さんが指導にあたり、参加者は体の動かし方や体幹のトレーニングについて学びました。



▲ラダートレーニングなどで体の動かし方を確認

本郷遺跡発掘調査説明会

9月8日(土)、発掘調査が進められている本郷遺跡で現地説明会が開催されました。調査の結果、古墳時代後期の集落と同時期の祭祀跡や柱穴、湿地跡が発見。住居と祭器が一緒に出土することは珍しく、古墳時代から中世にかけて、宗教的なエリアがあったという見方が示されました。



▲遺跡の出土品に興味深く見つめる参加者